



徳島東環状線街路工事末広住吉高架橋上部工事

現在工事中の徳島東環状線末広住吉工区の一部が平成27年3月20日に完成し、吉野川にかかる阿波しらすぎ大橋から安宅交差点に接続する下りランプまでの950mが開通しました。

安宅交差点は徳島市の中心部まで1~2キロの交通の要所にあり、当日の開通式には高校野球甲子園出場23回の古豪としても名高い徳島商業高等学校の吹奏楽部の皆様による演奏と共に通初めも行われました。徳島東環状線は今後更に南下し、その間の仮設ガードレールとして現場に合ったカーブに自在に対応できるプレキャスト連続基礎ブロック「ガードレール自在R連続基礎(置き式)」を採用いただきました。

■ 土木



webカタログもご覧下さい





徳島東環状線街路工事末広住吉高架橋上部工事



ガードレール自在R連続基礎のブロック施工方法のポイント

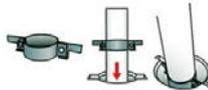
- 連続した基礎として衝突に対して抵抗するため安全性が高くなります。
- 設置間隔が決まっているため施工が容易です。
- 丸みを帯びた端部形状によりカーブ施工が容易に行えます。
- ボルト連結のため、道路の修繕時に撤去・移設し再利用ができます。

安宅交差点付近のこちらの現場では流時までのセパレーションとして視線誘導と車両の接触防止機能、そして工事中の高架橋が存在しますので、車両の路外への逸脱による乗員、第三者への人的被害の防止効果もあります。



■ガードレール自在R連続基礎

やじろべえ金具を支柱に取り付けて、製品にあらかじめ設けてある切り込み溝に差し込むだけで、簡単に支柱の位置を決めることができます。



やじろべえ金具により
支柱簡単施工！



■やじろべえ式支柱建て込み工法

■土木



webカタログもご覧下さい

現場住所 徳島県徳島市安宅2丁目
 施主名 徳島県 県土整備部 東部県土整備局<徳島>
 竣工年月 2016年 3月

納入製品 ① ガードレール自在R連続基礎
 (置き式)B型 延長 157m